

国際規格に基づく機械安全設計のポイント — 機械、電気及び機能安全

協賛(予定) 安全工学会, 安全工学研究所, エンジニアリング協会, 化学工学会,
軟包装衛生協議会, 日本機械工業連合会, 日本鍛圧機械工業会, 日本金属プレス
工業協会, 日本高圧力技術協会, 日本工作機械工業会, 日本食品機械工業会,
日本信頼性学会, 日本製パン製菓機械工業会, 日本非破壊検査協会, 日本プラン
トメンテナンス協会, 日本包装技術協会, 農業食料工学会, 腐食防食学会

開催日: 2019年1月31日(木) 10:00~16:30

会場: 品川区中小企業センター 大会議室 〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目28-3
東急大井町線下神明駅徒歩2分
JR線・東急線・りんかい線大井町駅徒歩10分

主旨: リスクアセスメントを実施し、リスクを受け入れ可能なレベルに低減させた機械を設計・製造することは機械メーカーの責務である。このために機械安全の安全要求の標準化がISO, IECを中心に進められており、わが国でも日本工業規格(JIS)として発行されている。
機械メーカーは、各仕向地で使用されている機械安全の標準に従って機械を設計する必要があるが、国際標準の内容の理解・解釈に時間を要する、仕向地で受け入れられるのか心配であるなどの声が機械メーカーから寄せられている。
当講習会では、機械安全設計を実施する際に問題となる点を、国際標準を用いた設計者、評価実務者により事例を交えて解説を行う。

司会: 東レエンジニアリング株式会社 谷口 満彦

演題:

1. 機械安全・機能安全規格の最新動向と機械エンジニアのための機能安全事例		
午前開演		10:00~10:05
1) 安全規格動向 機械安全・機能安全の最新動向	機械安全の国際規格エキスパートによる機械設計に関連する機械安全・制御安全・機能安全の最近の動向について分かり易く解説する。	10:05~10:55 テュフラインランド 杉田 吉広
2) 機械エンジニアのための機能安全入門	欧州機械指令ではパフォーマンスレベル(PL)の表示が2012年から義務付けされ、機能安全の理解無しにはPLへの対応が難しくなっている。CEマーキングを始めとする国際安全規格対応の要点を解説し、午後の講習「第三者評価の実務例」の導入編として最適な内容となっている。	11:00~11:50 富士電機 戸枝 毅
2. 機械安全設計のポイント		
午後開演		13:00~13:05
1) ケース1: 機械安全	国際規格に基づく機械安全設計のポイントについて欧州機械指令の概要と、機械安全の設計原則の国際規格をもとにした機械安全設計の進め方について設計事例を交えながら、ご説明いたします。	13:05~14:00 機械安全実践技術 促進会 畑 幸男
休憩		14:00~14:10
2) ケース2: 機能安全	現状分析として、機能安全を導入する機械メーカー、製造販売するコンポーネント・メーカー、それぞれの導入形態について機械指令・整合規格を題材に理解する。2005年以降のIEC/EN 60204-1の変遷から始まった機能安全の積極導入とその背景について説明する。	14:10~15:05 テュフブロード ジャパン 松前 貴志
休憩		15:05~15:15
3) ケース3: 電気安全	国内で使用実績のある電気・電子機器が初めてのCEマーク対応または国外出荷対応時の設計者のための指針を紹介いたします。実際の事例を照会しながら国外向けで安全に関わる電気・電子設計コンセプトを解説します。	15:15~16:10 テュフラインランド フエンテス・アド リヤン
質疑応答及びディスカッション		16:10~16:30

※事情により演題が変更となる場合もございます。予めご了承下さい。

定員: 80名(定員になり次第締め切ります)

聴講料: 会員及び共催、協賛団体会員 5,000円(学生員 2,000円) 会員外 8,000円(一般学生 3,000円)
いずれも教材1冊分代金を含みます。

※お申込者様のご都合による聴講料は返金できませんので、ご注意願います。

※聴講料は1月以前にお申し込みをされた方は翌月末迄、1月にお申し込みをされた方は2月15日迄にご入金頂けますようお願い致します。
期日までの振込ができない場合は、当日受付にてお支払い頂けますようお願い致します。

※学生員から正員資格へ変更された方は、卒業後3年間、本会講習会への聴講は学生員価格にて参加が可能です。下記申込先フォームの会員資格は「正員(学生員から正員への継続特典対象者)※学生員として入会后、正員継続3年の以内の方」を選択し、卒業年と卒業された学校名を通信欄に記載下さい。

教材：教材のみご希望の方、または聴講者で教材を余分にご希望の方は、1冊につき会員及び協賛団体会員2,000円、会員外3,000円で頒布いたします。開催前に予約申し込みをして下さい。
講習会終了後は在庫がある限り販売致します。講習会終了後に発送いたします。

申込方法：申込者1名につき、本会ホームページ
https://www2.jsme.or.jp/fw/index.php?action=kousyu_index&gyojino=18-168より
お申し込みの上、聴講料をご送金下さい。なお、当講習会では銀行振込の払込票等をもって領収書に代えさせて頂き、聴講券(兼領収書)は発行致しませんので、当日はお申込み時の自動返信メールを印刷の上、会場受付までお持ち下さい。
本会所定の領収書をご入用の場合には
<http://www.jsme.or.jp/japanese/contents/02/receipt.html>をご参照の上、別途お申し込み下さい。

【法人会員(特別員)】

法人会員(特別員)の方の受講料は「会員外」料金となりますが、「行事参加料割引コード」をご利用頂きますと「正員」料金で受講頂けます。「通信欄」に割引コードをご入力頂きますようお願いいたします。

(産業・化学機械と安全部門 担当職員 佐藤 電話 (03) 5360-3505)